

## 相澤病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	橈骨遠位端骨折術後における最大疼痛部位の局在と治療成績との関連 (承認 No. 2025-049)
当院の研究責任者 (所属・職名・氏名)	整形外科リハ科・科長・櫻井利康
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	橈骨遠位端骨折は、上肢の骨折の中で最も頻度の高い骨折であり、高齢者において特に多くみられる外傷です。手術後の経過においては、関節可動域制限や筋力低下と並び、疼痛が機能回復を妨げる要因となることが少なくありません。本研究の目的は、橈骨遠位骨折術後の患者さんを対象に、最大疼痛部位の局在を図示化し、術後疼痛の部位ごとの臨床的意義が明確になることで、今後の評価および治療方針の最適化につなげることです。特に、疼痛部位ごとの予後の違いが明らかになれば、より個別化された術後リハビリテーションの計画が可能となります。
調査データ 該当期間	2020 年 8 月から 2024 年 7 月まで
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さん 上記期間内に 2020 年 8 月から 2024 年 7 月までに当院で橈骨遠位端骨折の手術を受けた患者さんで、術後リハビリテーションを実施し、かつフォローアップデータが揃っている患者さん ●利用する情報 年齢、性別などの基本情報、疾患名、手術日、術式などの診療情報、術後の疼痛に関する情報（部位、強度）、リハビリ記録および治療成績（関節可動域、VAS、握力、患者立脚型評価アンケート） ●研究期間：2025 年 8 月 18 日～ 2025 年 12 月 31 日
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報などの個人情報を削除して患者さんを直接特定できる情報は削除致します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	相澤病院 整形外科リハ科 科長 櫻井利康 Tel : 0263-33-8600(代表)
備考	